

山鹿植木広域行政事務組合

山鹿衛生処理センター

年金積立金還元融資施設

ごあいさつ

多様化した住民の要望に応える行政の中で最も重要な施策の一つに生活環境の整備があります。清掃、し尿処理等、快適な日常生活を送るためにゆるがせにできない問題ばかりです。このたび、し尿の衛生的、効率的な処理をすすめるために、山鹿衛生処理センターが竣工致しましたことは、皆様のご理解とご協力による賜ものでございまして、誠にありがとうございます。

この衛生処理センターは、昭和53年度より2か年の継続事業として約7億円の費用を投じて、1日50キロリットルを処理する能力をもち、公害防止と地域環境に留意し、従来の処理施設のイメージを変える近代的な構造をもつ施設であります。投入室は自動扉で遮断し、臭気対策を施しており、主な施設は半地下式とするなど、美観についても配慮しております。また、処理水の放流については、河川の水質汚濁を考慮し、高度処理方式により未然に防止することとしています。

今後とも、この衛生処理センターが円滑に運営でき、安定した処理体制が確立できますよう、一層のご指導とご協力をお願い申し上げます。

山鹿植木広域行政事務組合
管理者 早田 順一

施設の概要

名称	山鹿植木広域行政事務組合立 山鹿衛生処理センター
所在地	山鹿市山鹿2055番地
敷地面積	4,504.31㎡
処理能力	92kl /日
処理方式	脱窒素活性汚泥法(デニバック方式)
着工	昭和54年3月
竣工	昭和55年3月
総事業費	712,340千円
	本体工事……………656,821千円
	附帯工事…………… 16,179千円
	その他施設……… 5,000千円
	用地費…………… 24,800千円
	水質地質調査… 5,000千円
	事務費…………… 4,540千円
財源内訳	国庫補助金………204,524千円
	県補助金…………… 500千円
	起債……………480,800千円
	一般財源…………… 26,516千円
	合計……………712,340千円



ごあいさつ

多様化した住民の要望に応える行政の中で最も重要な施策の一つに生活環境の整備があります。清掃、し尿処理等、快適な日常生活を送るためにゆがせにできない問題ばかりです。このたび、し尿の衛生的、効率的な処理をすすめるために、山鹿衛生処理センターが竣工致しましたことは、皆様のご理解とご協力による賜ものでございまして、誠にありがとうございます。

この衛生処理センターは、昭和53年度より2か年の継続事業として約7億円の費用を投じて、1日50キロリットルを処理する能力をもち、公害防止と地域環境に留意し、従来の処理施設のイメージを変える近代的な構造をもつ施設であります。投入室は自動扉で遮断し、臭気対策を施しており、主な施設は半地下式とするなど、美観についても配慮しております。また、処理水の放流については、河川の水質汚濁を考慮し、高度処理方式により未然に防止することにしてあります。

今後、この衛生処理センターが円滑に運営でき、安定した処理体制が確立できますよう、一層のご指導とご協力をお願い申し上げます。

山鹿植木広域行政事務組合

管理者 早田 順一



施設の概要

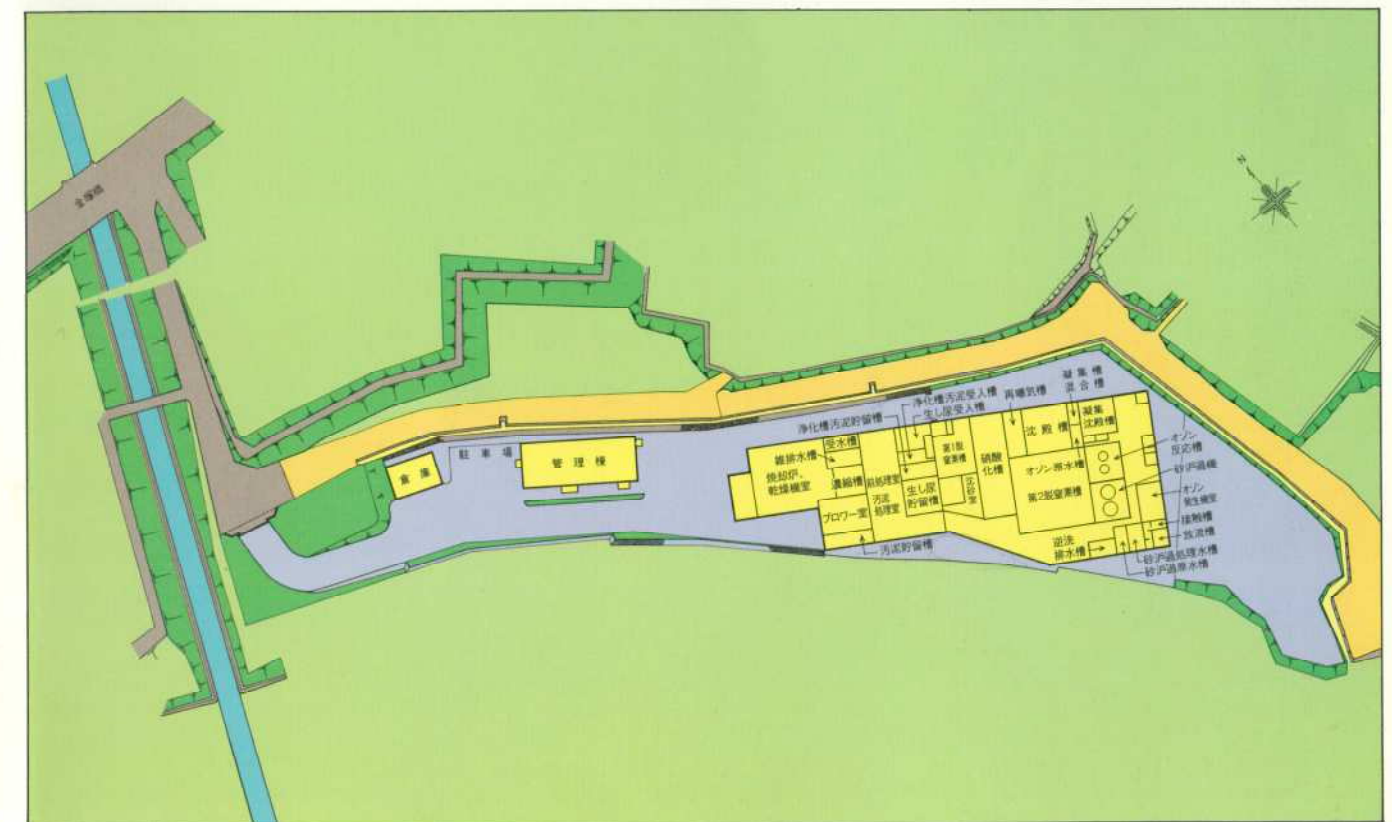
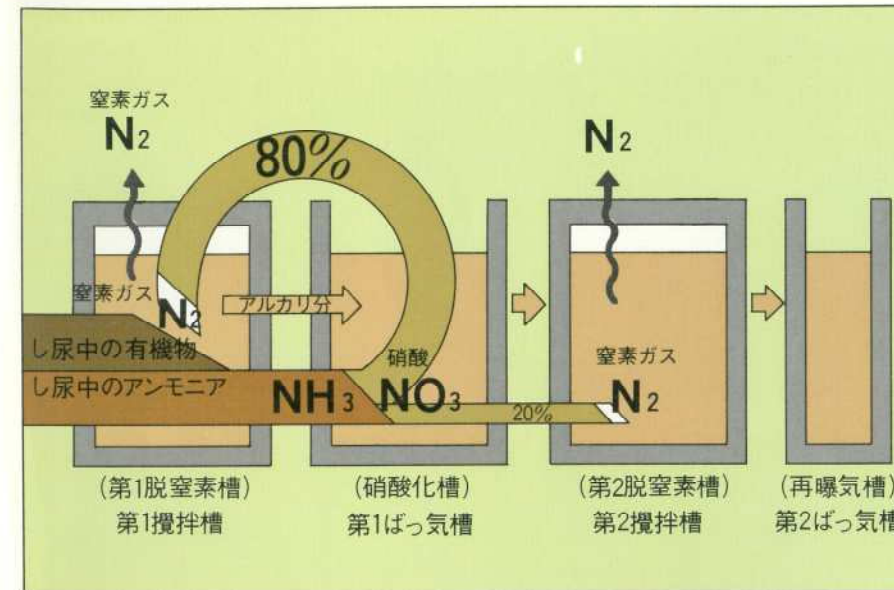
名称	山鹿植木広域行政事務組合立 山鹿衛生処理センター
所在地	山鹿市山鹿2055番地
敷地面積	4,504.31㎡
処理能力	92kl / 日
処理方式	脱窒素活性汚泥法(デニパック方式)
着工	昭和54年3月
竣工	昭和55年3月
総事業費	712,340千円
財源内訳	本体工事……………656,821千円
	附帯工事……………16,179千円
	その他施設……………5,000千円
	用地費……………24,800千円
	水質地質調査……………5,000千円
	事務費……………4,540千円
	国庫補助金……………204,524千円
県補助金……………500千円	
起債……………480,800千円	
一般財源……………26,516千円	
合計……………712,340千円	

施設の特長

- ①し尿中の窒素成分は、安全・無害な窒素ガスとして除去するため、2次公害のおそれがありません。また、処理の過程で、硫化水素などの悪臭成分を排出しません。
- ②窒素成分の除去と同時に、BOD、COD、色度なども高い除去効率で処理できます。
- ③浄化槽汚泥の投入に対しても、常に処理性能は安定

しています。

- ④独特の硝化液循環システムを採用しており、中和用アルカリはほとんど不要です。
- ⑤脱窒素菌の栄養源であるアルコールは不要で、非常に経済的です。
- ⑥活性汚泥法と同種の処理方式であるため、維持費が低廉で、運転管理がきわめて容易です。



設備の概要

●放流水質(保証値) SS 10PPM以下 大腸菌群数 3,000以下
 PH 5.8~8.6 T-N 10PPM以下 色 度 30度以下
 BOD 10PPM以下 P 1PPM以下 希釈水量 10倍



●中央監視室 全施設の運転を監視します。



●搬入車床 生し尿、浄化槽汚泥の受入れをします。



●前処理室 投入槽に投入したし尿は破碎機にて破碎され、ドラムスクリーンでろ過し、ろ液は貯留槽へ、し渣はスクリーブレスで脱水され、焼却炉へ送られます。



●処理棟 処理棟には第1攪拌槽(第1脱窒素槽)、第1曝気槽(硝酸化槽)、第2攪拌槽(第2脱窒素槽)、第2曝気槽(再曝気槽)、沈殿池、三次処理設備が1体に組まれており、本施設の心臓部であります。



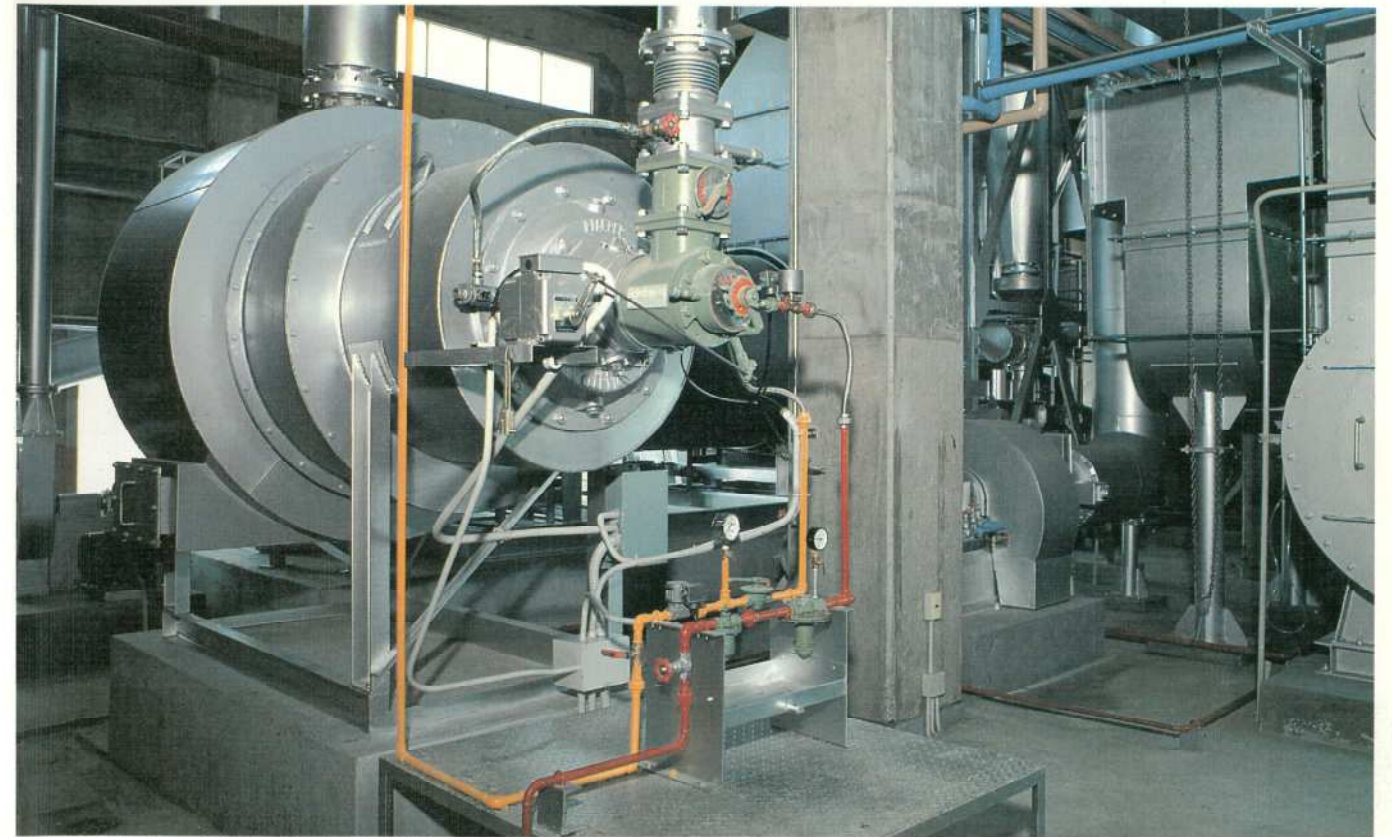
●ポンプ室



●オゾン発生機 凝集沈殿池処理水にオゾンを混入し処理水の脱色を行います。



●砂ろ過器 オゾン処理水の濁質を除きます。



●汚泥焼却炉室 汚泥及びし渣を乾燥焼却します。



●酸-アルカリ脱臭塔 低濃度臭気・中濃度臭気を酸-アルカリ脱臭します。

フローシート

